

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	中高生向け地域発アントレプレナーシップ教育の試み
事業主体 (連絡先)	北アルプス Youth Entre 実行委員会 080-6998-5920
事業区分	③教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	624,452 円 (うち支援金: 499,000 円)

事業内容

中高生向けアントレプレナーシップ教育の開発を行った。既存のアントレプレナーシッププログラムを参考に、地元の起業家や創業支援アドバイザーを講師として組み込みながら全6回の「未来をつくる起業塾 in 信濃大町」を開発、実施。運営する過程で中高生のニーズとズレを感じ、柔軟に内容変更をした。

また、地域でアントレプレナーシップ教育の理解を深めるために大人向けアントレプレナーシップ教育研修を2回開催した。



【講座の様子】

【目標・ねらい】

- ① 中高生向けアントレプレナー教育プログラムの開発
- ② 地域でアントレプレナーシップ教育の理解を深める

事業効果

① 「未来をつくる起業塾 in 信濃大町」と題し、全6回のアントレプレナーシップ教育プログラムを開講。毎回5~7名、計12名が参加し、学校や学年の枠を超えて学び、活発に議論し、発表を行った。参加者からは「来年度も参加したい」と声がるなど、中高生が継続的に学べるプログラムの開発となった。

② アントレプレナーシップ教育が起業家の育成だと誤解を受けやすい中、「起業家精神の育成」が根幹であるという理解が得られた。協力者が6名から17名に増えた。

※自己評価 【 B 】

【理由】

予想したほど参加者数があがらず、当初予定していたゴールと違うものになったが、多様な参加者が主体的に参加し、講座の満足度も高く、手ごたえがあった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今回の運営で地元中高生のニーズが明確になったが、より実践的な学び場をつくるには、実際にアントレプレナーシップ教育を運営している団体のノウハウが必要であり、来年度は外部からノウハウを教えてもらいながら質の高いプログラムにしていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある